

GIFU

International Exchange News
国際交流ニュース

vol.77
May 2016

Published by the Gifu City International Exchange Association

発行/ (公財)岐阜市国際交流協会 〒500-8076 岐阜市司町40番地5(みんなの森 ぎふメディアコスモス内) Tel&Fax058-263-1741

Grassroots (草の根レベルの)
International (国際的な)
Friendly (友情と)
Understanding (理解を求めて)

多文化共生社会における災害への備え

地震大国と言われている日本。熊本地震で発生した最大震度7の地震が、地域に甚大な被害をもたらしました。今回の地震で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。災害時には人命を左右する被災直後の迅速な対応が不可欠であり、外国人被災者に対してはそれが多言語で機能しなければなりません。

私たちの住む地域では、将来起こりうる地震災害として南海トラフ巨大地震が想定されており、災害時にいかに外国人被災者を支援するかが課題の一つとなっています。岐阜市が平成25年度に外国人市民に対して実施したアンケート調査でも、外国人市民の防災に対する関心は比較的高く、将来被災した時の漠然とした不安を抱いていることがうかがえます。

今年1月17日(日)に、ぎふメディアコスモスにおいて、外国人市民に防災知識を身に付けてもらうための体験学習と、災害時に外国人被災者を支援するための多言語支援センターを開設する訓練を、(公財)岐阜県国際交流センターとの共催により開催しました。

今回の国際交流ニュースでは「災害時における安心の確保」と題して、外国人への防災支援について考えます。



▲外国人市民のための防災体験学習の様子(1月17日(日)実施 ぎふメディアコスモスにて)

Contents

- **特集** 災害時における安心の確保 2~3
- 国際交流のあゆみ 7
- 事業のご報告 4~5
- インフォメーション 8
- 事業のご案内 6

災害時における安心の確保

地震が少ない国で育った人は避難訓練を受けたことがなく、いざという時の対応に困ることが想定されます。そうした状況に備え、適切な対応が図られるよう、多文化共生社会における災害に備えた様々な取り組みを行っています。

外国人市民のための防災体験学習

1月17日(日)に外国人市民を対象に行った防災体験学習では、外国人市民の防災への意識を高めてもらうために、まず起震車で地震体験を実施した後、防災ビデオを視聴してもらいました。その後、避難所を想定したブルーシートの上で、避難所での過ごし方やAEDの使い方、非常食の試食などを体験してもらいました。中国、フィリピン、メキシコなど出身の外国人市民33名が参加し、「災害が起きた時に何をすればいいのかわからず学ぶことができました。」という感想をいただきました。



▲起震車の体験



▲避難所の体験学習

災害時多言語支援センター設置運営訓練



▲支援センター設置運営訓練

防災体験学習と同じ日に行った災害時の多言語支援センターの設置運営訓練では28名が参加し、災害時に外国人被災者への支援が多言語でできるように、支援センターの開設、運営の訓練を行いました。支援センターの役割として災害時に必要な情報が外国人被災者にも速やかに伝わるように、ラジオやチラシ、ホームページやフェイスブックなどを通じて災害情報などを多言語で発信するとともに、ボランティアスタッフと協力して避難所を巡回し、外国人被災者からの相談に対応したり、情報提供を行うことが求められています。

防災ガイド

(公財)岐阜県国際交流センターは、多言語で書かれたポケット版の防災ガイドを発行しています。このガイドには、災害時に役立つ情報とともに、「私を避難所に連れて行ってください」という日本語が書かれており、日本語を十分に使えない外国人被災者が、これを見せることによって避難所まで辿り着けるようになっています。



▲ポケット版 防災ガイド

多言語案内表示ガイドライン

外国人市民や外国人観光客に必要な情報をわかりやすく提供するため、岐阜市から「岐阜市多言語案内表示ガイドライン」が発行されました。このガイドラインには、安全や緊急事態に関わるピクトグラムも掲載されており、あらかじめ必要な箇所に設置しておくことで、災害などの緊急時に日本語が十分に理解できない人たちが迅速に避難することができます。

しかし、ピクトグラムだけでは意味が分からないという外国人市民からの意見もあるため、これらのピクトグラムと併せて、できる限り多言語での表記が必要です。



▲安全に関わるピクトグラム



非常口

Emergency Exit (英語)

安全門 (簡体字)

安全門 (繁体字)

비상구 (韓国朝鮮語)

Emergency Exit* (タガログ語)

Saída de Emergência (ポルトガル語)

*タガログ語については、英語の対訳が広く知られているため英語で表記

▲ピクトグラムと多言語表記

また、このガイドラインには、指さしコミュニケーションシートが掲載されています。非常時用の多言語シートをあらかじめ用意しておけば、災害時にこのシートを使って外国人とのコミュニケーションが取れるようになっています。



▲指さしコミュニケーションシート

やさしい日本語

災害時に、すべての支援を外国語で行うことは不可能です。平成25年度に岐阜市が実施した、「外国人市民生活実態調査」では、母語以外に情報提供を受けたい言語として、やさしい日本語と回答する人が多く、「やさしい日本語」での情報提供も望まれています。「やさしい日本語」が外国人市民にとって理解しやすいものであるということが分かっているれば、避難所等で外国人市民と全く意思疎通ができないということは防げるはずです。

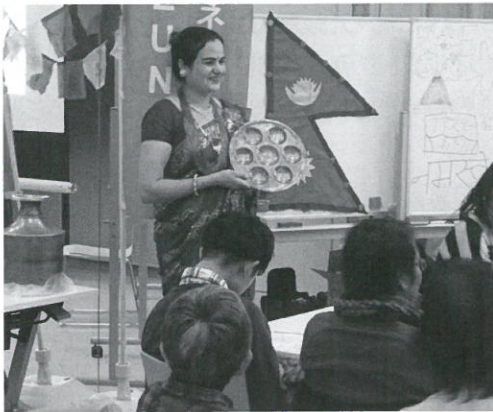
「危険」 → 危険^{あぶ}
 「速やかに」 → すぐに
 「注意する」 → 気をつける^き

「余震が起きるおそれもあるため、余震に対して十分に注意してください」

よしん あと く じしん
 余震<後>で 来る 地震>に 気をつけて ください

私たちが住む地域でも、いつ巨大地震が起こり、甚大な被害が発生するか分かりません。多文化共生社会に生きるすべての人が同じように支援を受けられるよう、当協会は最大限の努力をしていきます。

外国文化理解講座



Enjoy!! ネパール

開催日 平成27年12月4日(金) 参加者 22名

場所 ぎふメディアコスモス おどるスタジオ

外国文化の理解促進を目的とする外国文化理解講座、平成27年度第2回は、エベレストのある国「ネパール」を紹介しました。

「NPO法人KIZUNA日本・ネパール」のアディカリさんご夫妻、和田恵理子さんを講師にお迎えし、ネパールの生活や文化、民族衣装などを映像や実物で紹介していただきました。アディカリさんの営むネパールレストランのネパールチャイやチーズナンの試食はおいしいと大好評でした。

Enjoy!! インドネシア

開催日 平成28年2月25日(木) 参加者 26名

場所 ぎふメディアコスモス おどるスタジオ

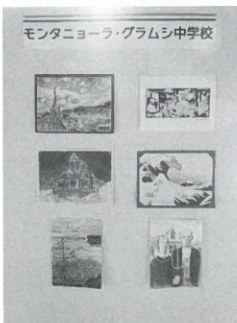
第3回は、岐阜大学のインドネシア留学生グループ19名による、インドネシアの生活や文化についての話、伝統的な歌や民族舞踊などの鑑賞、参加者全員によるダンス、ナシゴレンの試食と、盛りだくさんの楽しい講座になりました。インドネシアの様々なタイプの歌や踊りを、7曲たっぷり堪能しました。「インドネシアのみなさんがチャームングで、インドネシアに行ってみたくまりました。」という参加者からの感想をいただきました。



姉妹都市・フィレンツェ市 子どもたちの作品展

開催日 平成27年12月19日(土)～28日(月) 参加者 約600名

場所 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス



岐阜市の姉妹都市、イタリア・フィレンツェ市のサンドロペルティーニ小学校(岐阜小学校の友好校)とモンタニョーラ・グラムシ中学校(岐阜中央中学校の友好校)の子どもたちから、それぞれの友好校の子どもたちに贈られた絵画などの作品を展示しました。日本とは違ったイタリアの雰囲気を感じさせる作品をじっくり鑑賞される方が多くいらっしゃいました。また、フィレンツェ市の市章やフィレンツェの有名な建造物である大聖堂などのぬりえに多くの方が参加し、自分のぬりえ作品を展示しました。

春節・イースター

開催日 平成28年1月～4月 参加者 約660名

場所 ぎふメディアコスモス ワイワイサークル

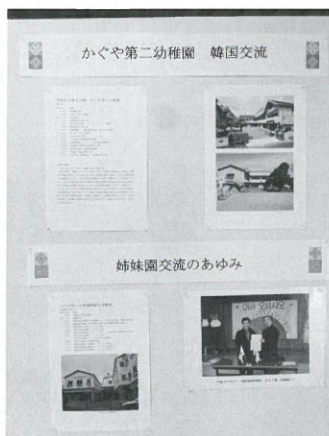
ワイワイサークルでは、季節ごとにいろいろなイベントを開催しています。1、2月は中国の春節にちなんで、龍などのぬりえ、中国結びや切り絵の体験を行いました。3、4月はキリスト教のイエス復活を祝うイースターにちなんで、シンボルである卵やうさぎのパズルとぬりえを行いました。また、子ども向けの特別イベントとして、ワイワイサークル内に隠されたお菓子入りの卵を探す「エッグハント」を行いました。



韓国・大邱 寿城区との交流パネル展

開催日 平成28年1月13日(水)～16日(土) **参加者** 約280名

場所 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス



岐阜市と韓国大邱広域市寿城区は、これまで岐阜市出身で旧加納町長を務めた水崎林太郎氏(1868～1939)を縁とした草の根交流を続けており、この度、同区と交流のある民間団体の活動を紹介するパネル展を開催しました。昨年10月、同区で毎年行われている「寿城池フェスティバル」に参加したNPO法人 和の未来(安田多賀子理事長)の現地での着物ショーや着付け体験、韓国ボモ幼稚園と交流を続けているかぐや第二幼稚園(篠田正男理事長/園長)の韓国でのホームステイの様子等を紹介しました。最終日の16日(土)には日本と韓国の伝統衣装の着付け体験があり、たくさんの来場者が試着を楽しんで自分の姿を写真に収めていました。また、同時期に来日していたボモ幼稚園の家族も、ホームステイ先のかぐや第二幼稚園の家族と一緒にパネル展を見に訪れました。

日本語講座 修了式

開催日 平成28年2月10日(水)、18日(木) **参加者** 初級I 8名、初級II 5名

場所 ぎふメディアコスモス あつまるスタジオ



10月から開講していた日本語講座の後期修了式を行いました。受講者のみなさんは修了証書を受け取ったあと、学習の成果を発表するスピーチを行いました。日本での生活で感じたことや将来の夢など、感動的なスピーチでした。どちらのクラスもスピーチを終えホッとした後の茶話会で、最後の楽しいひとときを過ごしました。

日中新春交流会

開催日 平成28年2月21日(日) **参加者** 約120名

場所 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

中国にルーツをもつ方々が集まり日中文化交流の活動をしている「岐阜星友会」と「岐阜大学中国留学生学友会」との協働事業として、日中新春交流会を開催しました。音楽家の金小玲さんによる竊琴(のこぎり音楽)の演奏や、二胡の演奏、中国の歌の合唱、学友会の学生によるモンゴルの伝統的な曲の独唱など、どの発表も参加者を惹きつけました。音楽や食文化を通して、日本人と中国人とが交流する場となりました。



みんなの森 ぎふメディアコスモス 1F
ワイワイサークル 予約不要の無料イベント

言語かふえ

毎週/14:00~14:45 対象:どなたでも
 火曜日 タガログ語(フィリピン) (お気軽にご参加ください)
 水曜日 ポルトガル語 定員:先着30名
 木曜日 中国語 外国人スタッフとお茶を
 金曜日 英語 飲みながら、いろいろな国の
 言葉や文化について学んでみませんか。

HELLO!ENGLISH

毎週/土曜日・日曜日
 14:00~14:30
 対象:幼児(4才~)・小学生
 (未就学児は保護者同伴)
 定員:先着20名
 外国人スタッフと歌やゲームなどをして、
 英語で遊ぼう!

Open English Circle

毎週/土曜日 15:00~15:45
 対象:中学生以上の学生で25歳まで
 定員:先着30名
 外国人スタッフと、英会話を楽しもう!

外国人のための日本語かふえ

毎週/日曜日 15:00~15:45
 対象:外国人
 日本語で楽しくおしゃべりしませんか。

しおり作りと、ブラジルのおもちゃ「カイノンカム」

しおり作り 4月28日(木)~6月30日(木) 毎日10:30~11:45
 岐阜市多文化共生シンボルマークに色を塗り、オリジナルのしおりを作ろう!

カイノンカム 7月1日(金)~8月31日(水)(予定) 毎日10:30~11:45
 ブラジルのおもちゃ「カイノンカム」で遊んでみよう!



常設展示 ~多文化交流プラザカウンター~

「世界の街から大集合!アメリカ編」 4月1日(金)~6月30日(木)

「世界の街から大集合!ブラジル編」 7月1日(金)~9月30日(金)

「アメリカ合衆国シンシナティ市」や「ブラジルカンピーナス市」など、岐阜市の姉妹都市を順次紹介していきます。

毎月最終火曜日(祝日と重なる場合は翌日)と年末年始(12月31日~1月3日)は
 みんなの森 ぎふメディアコスモスが休館日のためイベントは行いません。

**その他の主なイベント
 (9月まで)**

○ハローギフ・ハローワールド

7月10日(日)
 場所:シネックスホール(シネックスビルB1階)、
 柳ヶ瀬高島屋前わくわく広場

岐阜県国際交流団体協議会主催の国際交流促進イベント。
 当協会ブースでは多文化共生について紹介するパネル展示や
 岐阜市多文化共生シンボルマークのしおり作りを行います。

○外国文化理解講座

7月22日(金)
 場所:みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

外国文化の理解促進を目的として、外国人市民などを講師
 に、諸外国の文化や言語を紹介する講座を開設します。

○ワールドフェスタ岐阜

8月27日(土)
 場所:みんなの森 ぎふメディアコスモス

公益社団法人岐阜青年会議所が主催する国際交流イベント
 「WORLD FESTA GIFU」。当協会も後援し、友好姉妹都市を
 はじめとする世界の文化を発信していきます。

国際交流のあゆみ

(2015年12月～2016年3月)

● 岐阜大学留学生の日本文化体験(12/5)

奉仕団体の国際ソロプチミスト岐阜(森川幸江会長)は、留学生に日本文化への理解を深めてもらおうと、毎年、様々な企画を実施しています。

今回は、インドや中国など、10か国23名の岐阜大学留学生が、岐阜総合学園高校を訪れ、同校生徒による迫力ある和太鼓演奏や、優雅な琴の発表に聞き入りました。留学生は、演奏の仕方の指導も受け、興味津々な様子で楽器に触れた後、一緒に演奏するなど交流を深めました。



● 日本・アフガニスタン国際文化交流会(12/6)

アフガニスタンの子どもの教育支援に取り組む認定NPO法人飛鳥(柳原靖子理事長)主催の「日本・アフガニスタン国際文化交流会」が、市内のホテルで開かれました。同法人は、現地の小学生に文房具を届けたり、学校建設準備等の活動をしています。

今回、NPO法人和の未来(安田多賀子理事長)の協力を得て、十二単の着付け、アフガンの衣装を身に着けての民族ダンスなどが行なわれ、支援者ら約130名が交流を深めました。



● 岐阜市外国人市民会議(12/13、3/27)

外国人市民の視点から多文化共生施策などについて意見交換を行う「岐阜市外国人市民会議」がみんなの森 ぎふメディアコスモスで開催されました。

今年度2回目の会議(12/13)は8名の委員が出席し、多言語案内表示ガイドラインの作成について、3回目(3/27)は、6名の委員が出席し、多文化交流プラザの事業などについて意見が出されました。

● 岐阜市民病院医師がミャンマーで手術指導(1/6～13)

岐阜市民病院(富田栄一院長)の宮本敬整形外科部長がミャンマーを訪れ、脊椎手術の支援や地元医師の指導を行いました。宮本医師の同国での支援活動は3回目。マンダレー整形外科病院では9例、ヤンゴン整形外科病院では5例の手術を手掛けられました。宮本医師は「日本には脊椎の専門医が2千人ほどいるが、ミャンマーではわずか7名。医療途上国への支援や指導は不可欠。これまでの貴重な経験を、診療や若手医師の指導に生かしていきたい」と語っています。

● 岐阜・ベトナム友好協会が発足(2/1)

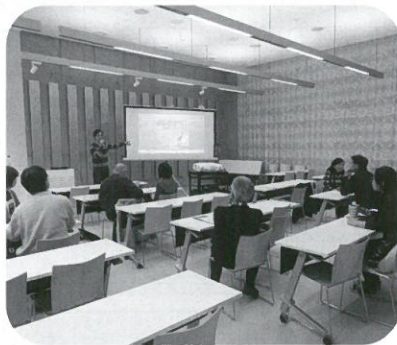
ベトナムとの民間レベルの交流促進を目指す岐阜・ベトナム友好協会(森脇久隆会長)が発足し、市内のホテルで設立総会が行なわれました。昨年7月に岐阜県知事や民間団体が同国を訪れたことを契機に構想が持ち上がり、民間レベルで準備が進められてきました。今後、ベトナムの経済情勢を知るためのセミナーや、ベトナム人留学生との交流、現地視察への支援などが検討されています。

● 国際理解連携講座(3/6)

グローバル化が進む中、様々な背景を持つ人が暮らしやすい「多文化共生」の地域の在り方が問われています。今回、岐阜市生涯学習センターと連携し

て、NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の高木和彦副代表理事をお招きし、「ちがいを楽しみ力に変える“多文化共生”～身近な外国人住民とともに地域をつくる～」と題して国際講座を開催しました。参加者からは、「今まで多文化共生など考えたことがなかったが、よく理解できた。これからは、共生社会になってきたという認識を持つことから始めたい」といった感想をいただきました。

● 「やさしい日本語」講座(3/10、17)



外国人市民とのコミュニケーションに活用できる「やさしい日本語」を学ぶ講座を、岐阜大学教育学部の仲潔准教授を講師に迎え開催しました。やさしい日本語についての説明のあと、受講者15名の皆さんが、2人ずつに分かれロールプレーで実践しました。ちょっとした意識で、いつもの日本語が、外国人の皆さんをはじめ、お子さんやお年寄りにもやさしい言葉になることを実感できました。

● モンゴルへ善意の楽器(3/12)

岐阜市の海外派遣事業(平成27年8月)に参加した中学生が、日本モンゴル文化協会(久野昭治理事長)を通じて、モンゴルの孤児院に楽器を送りました。モンゴルの歌手オユンナさんからの、「モンゴルの孤児院で暮らす子どもたちに演奏を教えたい。」という要請に応えたもので、市内の中学11校で収集された、電子オルガンやリコーダー、鍵盤ハーモニカなど286点が協会理事長に手渡されました。

～外国人スタッフの紹介～



シンナイ ブルナ ユミ SHINNAI BRUNA YUMIさん

初めまして、ポルトガル語相談員のシンナイ ブルナ ユミです。
自分が日本に来てたくさんの人達に助けってもらったように、自分も
たくさんの人達を支援したいと思い、この仕事に就きました。
最初の間は分からないことが多くて皆様に迷惑をかけると思いますが、
頑張りますのでどうかよろしくお願い致します。

外国語相談窓口を開設しています！

ぎふメディアコスモス 多文化交流プラザでは、日常生活での困りごと、行政手続き等について相談を行っています。
業務の都合などでスタッフがいない場合もございますので、お越しいただく前に一度お電話でご確認ください。

英 語	毎 日	10:00～12:00 13:00～16:00
中 国 語	月・火・木・土・日	10:00～12:00 13:00～16:00
タガログ語	日～木	10:00～12:00 13:00～16:00
ポルトガル語	水・金	10:00～12:00 13:00～16:00



English	Everyday	10:00am to 12:00pm 13:00pm to 16:00pm
中 文	星期一, 星期二, 星期四, 星期六, 星期日	上午10点～12点 下午1点～4点
Tagalog	Linggo ~ Huwebes	10:00am - 12:00pm 13:00pm - 16:00pm
Português	Quarta-feira, Sexta-feira	Das 10:00 às 12:00 13:00 às 16:00

協会からのお知らせ

■ 賛助会員加入のお願い

会 員 国際化に対応した街づくりと国際親善への寄与を目的とした当協会の設立趣意に賛同していただける個人または団体

会 費 個人会員：一口3,000円 団体会員：一口10,000円 **期 間** 入会年度の3月31日まで

- 特 典**
- ・「国際交流ニュースG I F U」の送付（3回/年）
 - ・各種イベント情報の案内
 - ・協会主催事業等への招待・優待
 - ・外国文化理解講座
 - ・国際理解連携講座
 - ・賛助会員交流会
 - ・外国人スタッフによる外国文化の紹介
 - ・賛助会員のみ参加可能な外国人スタッフによる少人数制英会話イベント“Evening English”
 - 日時：毎月第3火曜日、19:00～19:45
 - 場所：ぎふメディアコスモス1階ワイワイサークル
 - 定員：6名（申込の先着順、協会に電話でお申し込みください）
 - ・当協会 website からのリンク貼り付け（団体会員の場合）
 - ・協賛店からの割引等の提供（詳細は協会にお問合わせください）
 - ネパール料理 オーガニックキッチン インド料理 ラサマンダ
 - サロン プラナ スペース タイごはん ポーヤイ

お問い合わせ / 公益財団法人岐阜市国際交流協会
Tel&Fax:058-263-1741 E-mail:gk3700cc@ccn.aitai.ne.jp

Facebookページ

当協会の Facebook ページでは、日々のイベントの様子や今後のイベントの募集案内、外国人市民へのお知らせなどを発信しています。ぜひご覧ください！